

3

むかしむかし、とある山奥^{やまおく}に、おじいさんとおばあさんが住^すんでいました。

おじいさんは山で木^きを切り、おばあさんは家^{いえ}で糸車^{いとぐるま}を回^{まわ}して、糸^{いと}をつむぐ仕事^{しごと}をしていました。



5

ある^ひ日のこと。

やま すうひき
山から数匹のたぬきたちがやってきて、留守^{るす}にしていた
ふたり いえ はい こ
た二人の家に入り込みました。

たぬきたちは家^{いえ}の中をさんざん荒らし、^あ戸棚や^{とだな}床下^{ゆかした}に
かく た もの
隠した食べ物まで、みんな食べつくしてしまいました。

いえ かえ
家に帰ってきたおじいさんは、たいそう腹^{はら}を立てて言
いました。

「なんということだ！この小さい足^{ちい}あとは、たぬきに^{あし}違
ちが
いない。あいつらをとっちめてやる！」

おじいさんは、家^{いえ}の周^{まわ}りにワナをしかけました。



19

A long time ago, there lived an old man and an old woman in the mountains.

The old man cut trees and the old woman made yarn using a spinning wheel to make their living.



21

One day, a group of raccoons came down from the mountain and entered the old couple's house.

They had made a huge mess in the house, and ate all the food hidden in the cupboard and underground storage.

When the old man returned home, he got very angry after seeing the mess,

"What a mess! These small footprints must be raccoons. I have to punish them all!"

He had set up traps around the house.

